

舟歌 作詞：阿久悠 作曲：浜圭介

お酒はぬるめの 爛がいい  
肴はあぶった イカでいい  
女は無口なひとがいい  
灯りはぼんやり 灯りやいい  
しみじみ飲めば しみじみと  
想い出だけが 行き過ぎる  
涙がポロリとこぼれたら  
歌いだすのさ 舟唄を

沖の鷗に深酒させてヨ  
いとしのあの娘とヨ 朝寝する  
ダンチヨネ

店には飾りがないがいい  
窓から港が見えりやいい  
はやりの歌などなくていい  
時々霧笛が 鳴ればいい  
ほろほろ飲めば ほろほろと  
心がすすり 泣いている  
あの頃あの娘を 思ったら  
歌いだすのさ 舟唄を

ぽっぽっ飲めば ぽっぽつと  
未練が胸に 舞い戻る  
夜ふけてさびしく なったなら  
歌いだすのさ 舟唄を  
ルルル…